

労山愛知

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2019年4月25日発行

No. 557号 (第51期 2号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

3月31日県連登山学校が始まりました。



第51期県連登山学校の理論「労山運動の理念」を県連事務所で入校式を兼ね8時30分より始まりました。講師は半田ファミリー山の会代表、洞井孝雄さん。受講生は今期はクライミングコースのみで、じねんじょ2名、あつた1名、かわせみ4名、半田2名、若駒1名の合計10名。午前には愛知県勤労者山岳連盟の登山学校40年近くの歴史、登山学校の意味始まり労山運動の理念について学びました。午後からは初めに受講生の自己紹介、入校の動機、などを発表しました。それから自然保護、計画書の重要性、意味、書き方を学び、装備については講師の現物を見て使い方やなぜ必要なのかを学び、最後に登山学校のコーチ、スタッフの自己紹介をして終了しました。

《目次》	3月31日県連登山学校が始まりました。	1
	新任役員からのご挨拶	2
	愛知県勤労者山岳連盟 第51回定期総会議事録(2019.3.3)	2
	理事会と各専門部の役割分担、紹介	4
	一般向け登山講座「基礎から学ぶ安心登山2019」 開講	4
遭対部	4/5(金) 第1回遭対担当者会議、4/12(金) 春山合宿遭対連絡会議	5
自然保護部	第47回鈴鹿山系清掃登山開催 実行委員会報告	7
教育部	3/20(木) 第1回教育担当者会議を開きました	9
組織部	3月26日第1回、4月6日第2回、組織担当者会議を開催	9
〃	あいち平和行進2019への参加をよびかけています。	10
女性部	第2回女性のつどい	11
	報告：コーチ会議との懇談会	11
	カレンダー	12

新任役員からのご挨拶

県連の発展のため尽くします

副会長 望月敏仁（ふわく山の会）

副会長、3期目になります。県連は、清掃登山・会員数の増加・財政・創立50周年・事故防止等問題山積です。引き続き、森一佐藤体制をバックアップしてゆきます。

2月に開催された第33期 第1回評議会で報告された全国連盟のROUSANパートナーズ検証委員会（5名）の任務を果たすべく、全力を挙げます。

愛知県勤労者山岳連盟 第51回定期総会議事録(2019.3.3)

9:30 会長挨拶 森会長

愛知県連の会員数が1000名を切る状況であり、未来志向の議論をお願い致します。

9:32 来賓挨拶 全国連盟石川副理事長

昨年11月の全国登山研究集会の開催に尽力いただき、ありがとうございます。内容の充実した集会であった。1969年に第1回、翌年第2回の全登研も名古屋で開かれ、第2回から分科会が実施されることとなった。（詳報を別掲載）

9:45 総会役員選出 資格審査委員：西尾（くらら）、谷本（あつた）

議長：井土（東海山岳会）、水越（同志会）、書記：廣田（同志会）、田代（くらら）
選挙管理委員：山本（犬山マップ）、田島（同志会）、辻村（ふわく）

出席報告 9:30現在 出席（43名）・委任状（3名）合計（46名）。代議員総数47に対し過半数出席で総会成立

【第1号議案】総括と方針

9:53 理事長 佐藤（あつた）議案書P1～2参照

事務局 吉川（同志会）議案書P2～4参照

教育部 榊原（ありんこ）議案書P4～7参照

遭難対策部 望月（ふわく）議案書P7～10参照

自然保護部 田中（あつた）議案書P10～11参照

女性部 河村（春日井峠）議案書P12～13参照

組織部 岩田（スルジェ）議案書P13～14参照

財政部 脇田（じねんじょ）議案書P14～15参照

11:20 質疑応答 意見：女性部の活動が活発に行われたと思う。みどり山の会としても積極的に参加し参加人数が増えた。各会も是非、女性部担当を作り、県連とのパイプ役として参加人数を増やして活動が更に活発になるようにしてください。二宮（みどり）

Q：ふわく山の会の事故は、17件中8件と多いが対策されているのか。弘中（春日井峠）

A：ふわく山の会の安全対策部と連携して対応しているがなかなか進んでいない。望月（ふわく）

Q：ふわく山の会は労山に加盟している人とそうでない人というが関係していないか。弘中（春日井峠）

A：関連はないと思う。望月（ふわく）

Q：御在所清掃登山で、一般の人を含め15名で参加し、12:30に集会場に着いたが既に終わっており集会に参加できなかった。下山してからもゴミを渡すところもなく、持ち帰った。マイカー登山の人は11時に着くでしょうが、公共交通機関利用では、集会終了時間が早すぎて参加できないので改善して欲しい。マイカー登山は環境も悪化させるので、公共交通機関を進めるべきではないか。渡辺（山歩会）

A：会員全員と一般の方にもPRしていると思う。自治体との関係が改善されていない。菰野町は清掃登山をすることは同意しているが、登山者のゴミを町が捨てなければならないのか、とも言っている。現在、ゴミは処理してもらっているが、イザコザは少しでもなくしたい。

A：菰野町のごみ引受時間が早まっている中でロープウェイが改修・止まっている関係で、回収の終了時間早めたが、次回については部会で検討する。田中（あつた）

Q：御在所清掃登山の変更を考えているようだが、知名度・社会的アピールも考慮して変えない方がいいのでは。渡辺（山歩会）

A：地元（菰野町）から歓迎されていない、歓迎されているとは言えない。ゴミを何故町で捨てなければならぬのか、と言っているが、処理はしてもらっている。藤原岳は山小屋周辺が多いが、御在所岳はスカイライン沿いの生活ごみが多い。登山道はきれいになっておりやる意味があるのかということも

あり愛知県の山に変えた方がいいのか、アンケートなども参考に検討中です。田中（あつた）

Q：ふわく山の会の中に労山に加盟していない人もいるようだが問題ではないのか。弘中（春日井峠）
意見：ふわく山の会の成り立ちは、労山に力添えをいただいて、ほとんどの人が労山加盟できた。会員の内、労山加盟を希望する者のみ加盟としている。過去に全員加盟を提案したことがあったが、300人が退会した。全員加盟としたら全員退会すると思われるので、そこをどう判断するのか。藤田（ふわく）

A：ふわく山の会では、会員にアンケートを取り、労山会員に入るかどうか問うている。（望月）

Q：県連規約11条に照らし検討してほしい。弘中（春日井峠）

A：何百人までは連盟費を払うとかいった規約の特例は他の会に悪影響が及ぶ。佐藤（あつた）

意見：過去の経緯もあり、ふわく山の会と県連の関係が出来上がっており、その辺は理解しているので規約を変える必要はない。洞井（半田F）

12：00～13：00 昼休憩

Q：労山愛知の責任者は誰ですか。飯田（おやこ）

A：最終的に事務局長の吉川がチェック。吉川（同志会）

Q：12/6の報告がない。飯田（おやこ）

A：申し訳なかった。後日掲載します。吉川（同志会）

Q：全国連盟に関する報告が有ってもいいのではないか。村田（スルジェ）

A：今後報告するようにします。佐藤（あつた）

13:07 【採決】 第1号議案 反対(0) 保留(1) 賛成(35) 議決されました

【第2号議案】第50期決算(案)について

13:12 会計報告（脇田）資料集P1～6に沿って説明。

監査報告（北川）資料集P7のとおり。

【第3号議案】第51期予算(案)について

13:32 （脇田）資料集P8～10（P8は当日配布の別刷り）に沿って説明。

Q：コピー機のリースはできないのか。樋江井（若駒）

A：今後検討します。脇田（じねんじょ）

【採決】 第2号議案 反対(0) 保留(0) 賛成(37) 議決されました

【採決】 第3号議案 反対(0) 保留(0) 賛成(37) 議決されました

【第4号議案】第51期役員選挙

13:47 立候補者一覧の掲示

Q：会推薦者のない人が立候補者の中にいるがどうなんですか。本田（スルジェ）

A：推薦の有無は問題ないと考えている。佐藤（あつた）

14:15 選挙結果…立候補者全員信任された。

13:18 佐藤理事長より挨拶と新任役員の紹介、犬山マップ山本より退任役員の挨拶を受けた。

14:20 自然保護部より連絡事項。：3月14日が第1回の部会。5月1日清掃登山実行委員会⑤は5月15日に日程変更。田中（あつた）

女性部より連絡事項：3月7日が第1回の女性のつどい。河村（春日井峠）

14:25 廣田副会長より閉会の挨拶。第51回定期総会終了。

一般向け登山講座「基礎から学ぶ安心登山 2019」開講

4月6日(土)第51期一般向け登山講座「基礎から学ぶ安心登山 2019」を開講しました。今年の受講生は15名(16名申込、後1名辞退)、男性10名、女性5名です。県連HP6名、知人の紹介6名、その他3名で知人の紹介が多いのが特徴です。

6日は佐藤理事長の挨拶で開講し、講座①「山に登る前に一山に登る姿勢、装備と食糧」は春日井峠の会、弘中氏、講座②「山の天気」はみどり山の会の藤野氏が行いました。講座①では「ハイキングABC」と、作成したPower Pointを映して、登山の基礎を、講座②でもPower Point使用して気象の仕組みと変化、予測の仕方や雷の発生とその対策などを、それぞれ講義されました。

受講生の受講の動機では、基礎的な事を学びたいが10名と最も多く、登山を始めてみたいが2名でした。

4月14日に予定していた猿投山の実技山行は空模様が思わしくなく中止しました。これに先立つ3月16日の合同の下見には12名の参加があり、その他にもリーダー予定者などがそれぞれ下見を行って準備してきましたが、残念でした。

今年は、6月8日(土)講座⑥「登山の楽しさ——山の自然を学びます」には名大教授の竹内先生がきていただけることになりました。(別掲、参照。)プレートテクトニクス理論により、地球内部の活動が登山のベースである山々の成因、地震の発生、火山や海溝の成因などに大きく影響していることが明らかにされてきました。講座では山々の成り立ちなど興味ある話があるでしょう。この講座は一般にも公開講座として実施しますので、是非参加して下さい。

6月8日(土) 公開講座「登山と地質：足下の石をみて、大地の鼓動を感じよう」



名古屋大学大学院環境学研究科教授 竹内 誠先生

登山をする時、一番長時間見るところは足下です。その足下の石をじっくりと見たことはありますか。そこには様々な石が出ていて、その石から山の成り立ちがわかります。山を登りながら、大地の鼓動を感じてみましょう。本講演は2部からなります。第一部は山岳地域の地質調査、第二部はプレート運動と山々の成り立ちです。第一部では、私がこれまで調査・研究対象としてきた北アルプスを例として、地質調査の方法や山岳地域の地質情報を得る方法を紹介します。第二部では、なぜそこに高い

山があるのか、なぜそこに火山があるのかを、プレート運動と関連づけて紹介します。いくつかの山を例として、その成り立ちも解説します。今後、山頂から大地を見渡したとき、きっと地球の中に秘めた偉大な力を実感できることでしょう。

日時：2019年6月8日(土) 13時より

場所： 労山愛知県連事務所

会費： 500円

※どなたでもご参加いただけます。

理事会と各専門部の役割分担、紹介

3月28日第二回理事会で確認された各専門部等の役割分担を紹介します。各会から担当者会議への参加も宜しく願います。◎印：部長 ○印：副部長

教育部：◎榊原(ありんこ)、佐藤(あつた)、吉田(くらら)、

自然保護部：◎田中(あつた)、○森本(半田F)、山本(みどり)、中根(ふわく)、
小野塚(犬山マップ)

遭難対策部：◎望月(ふわく)、○廣田(同志会)、西尾(くらら)、三島(じねんじょ)

組織部：◎吉川(同志会)、岩田(スルジェ)、井川(犬山マップ)、

女性部：◎河村(春日井峠)、稲垣(同志会)、

事務局：◎吉川(同志会)、井土(東海)、榊原(ありんこ)、中根(ふわく)、

労山愛知編集委員会：◎吉川(同志会)、井土(東海)、榊原(ありんこ)、

財政部：◎井川(ふわく)、脇田(じねんじょ)

会計監査：◎北川(くらら)、◎松本(東三河)

遭対部 4/5(金) 第1回遭対担当者会議を開きました

2019年4月5日(金)19:30から県連事務所で第1回遭対担当者会議を開き、16山岳会19名が出席しました。

【出席者】加藤(ちんぐるま)、洞井(半田F)、春日井(みどり)、樋江井(若駒)、西尾・野村(くらら)、天池(アリス)、鷺見(スルジェ)、高井(春日井峠)、神谷・佐村(ASC)、松本(東三河)、清水(東海)、竹田(あつた)、佐藤(かわせみ)、望月(ふわく)、廣田(同志会)、三島・室岡(じねんじょ)

【議題】

- 1、「春山合宿の県連留守宅」の報告
- 2、全国救助技術交流集会(5月25日～26日:新潟県新発田市)への参加を。
申し込みは、遭対部望月まで。
- 3、事故報告1件。3/13ふわく山の会。岩登山中の骨折事故。詳細を確認し、再報告します。
- 4、遭難対策担当者の連絡先等の提出依頼。
- 5、第51回定期総会では、全体として発言が少なかった。前年度の事故件数は17件だったが各訓練や講習会への取り組みは低調で、スケジュールをこなすだけの活動に終わった。
- 6、今期の遭対部の活動を始めるに当たって、各会から、合宿の取り組みの現状、問題点等を出し合いました。
 - ・パーティーが固まってトレーニングに入っている。今年は新人の参加が多い。
 - ・無雪、積雪、山スキーの三コースに取り組む。隔年で大きな事故が起きているので、今年はとりわけ慎重に取り組もうと話している。会員150名中50名ほどの参加だが、もっと増やしたい。中堅どころの退会者があったので若手を育てたい。今年は会の創立35周年で、みんなで北アの稜線から日本海までをつなげようと考えている。
 - ・登山学校のコーチング・スタッフが多く出ているが、それ以外の会員たちの山行のレベルを上げる取り組みをしようとしている。救助訓練や救急法には、メンバーを会で指定して参加してもらい、リーダーになってもらうような取り組みを考えている。
 - ・春山合宿はないので、個人の山行が中心。新入会員が増え、今期の登山学校も複数が受講することになった。
 - ・月2回の定例山行と後は自主山行。行きたい人が多いが、経験者が少なく、連れて行って欲しいひとが多いパーティー構成になる傾向。
 - ・会の遭対部の中で、年間計画を3部門(啓蒙活動・保険・救助)に分かれて、担当者を決めて推進している。留守宅体制は17名でやっている。春合宿3コース。夏合宿も準備を始めている。
 - ・うちの会は夏合宿だけ。事前のトレーニングは欠かせない。新人も参加してくる。山行管理担当を3名に強化した。
 - ・春山へトレーニングが少ないまま新しい人が行くことが気がかり。
 - ・県連の事故は、件数、内容からみて起きるべくして起きている事故が多い。訓練の場に参加者が圧倒的に少ない。もっと呼びかけが必要だ。

- ・毎月、定例山行をおこなっているが、ハイキング主体。遭対部の訓練や講習会にもほとんど出たことがない。ロープワークなども不十分で装備を持って行っても意味がない。会の中で必要性を訴えてもなかなか外で学んでくるような形になっていかない。
- ・全国連盟の全国救助技術交流集会の実施要項に、「ロープ登攀」についての実技がはいっているが、ようやく実際の山行に対応する実技を取り上げるようになった、という感じだ。
ロープワークその他については、繰り返し呼びかけて学んでもらうしかない。そういう点では遭対部の横のつながりを生かして、誰かに来てもらって教えてもらうということも可能だと思う。
- ・先ほどの、訓練や講習会に会員を指名して出したい、というのは、多分、前年度最後のこの会議で、救助訓練の考え方や実技の中身が変わってきていることを受けての動きだと思う。これは遭対部として、訓練の中身をそのような期待や要求に応えうるものにしていくことが求められているということでもある。
- ・春山合宿は入会して1回もなし。主にやっているのは低山ハイク。夏山合宿も今年からやめようかという話が出ている。加齢してくると重いザックがえらくなってくる。
- ・春の合宿はやらない。会の山行は、クライミングが多い。話を聞いていて感じることは、会の山行管理の権限権威がそれほど高くなさそうだということ。
- ・自分の会でやられていることが他の会でもやられているわけではない、ということを知ることが大事。山行管理のあり方は、各会によって違う。山行について許可制のところ、届け出制のところ、さまざま。計画をひとりでチェックしているところ、複数の担当者のところ、会議で共有しているところもあって、一定ではない。基本はリスク管理。この季節、このメンバーで、この装備、この日程でこの計画が妥当かどうかを会の仲間が第三者の目でチェックすることで、要は、山行のリスクをどのように把握し克服するかということに尽きる。登山届とは違う。登山届は不明者や事故者を早く見つけ、ダメージを最小限におさえる手段であることをきちんと押さえておきたい。

7、県連遭対部の今期の体制は、部長：望月（ふわく）、副部長：廣田（同志会）、部員：西尾（くらら）・三島（じねんじょ）。

4/12、春山合宿遭対連絡会議を開きました

2019年4月13日 4月12日（金）19：30から、第51期春山合宿遭対連絡会議を開き、9山岳会14名が出席しました。【出席者】水越・青山・成田・廣田（同志会）、大谷（じねんじょ）、望月（ふわく）、西尾（くらら）、樋江井（若駒）、小栗・洞井（半田F）、松本（東三河）、岡部・添田（ありんこ）、神谷（ASC）。

当日提出された山行計画書は、7山岳会14件。

合宿を取り組む山岳会から、報告を受け問題点の指摘や質問など議論しました。主な点を掲載します。

- ・装備で●○の違いはと質問があり、○は、デポ装備だと回答がありました。
- ・仙丈、甲斐駒の山行、3名パーティ、ロープなしの計画に対し、5mmX50m1本を持参するよう指摘された。
- ・奥穂、涸沢、北穂の山行で10名パーティ、現場では3班に割る。8.5mmX50m2本の計画に対し8.5mmX30m1本を追加するよう指摘された。
- ・県連留守宅の記載漏れが指摘された。
- ・10名パーティ、小屋泊りでガス・コンロ1に対し、2に増やすよう指摘された。
- ・ある山岳会では、計画書に装備を全部掲載しておいて、その都度、必要な装備を指示している。そうすれば漏れを防止できるから。参考にすべきです。

○全体として、

- ・今年は、天候に留意すべきと指摘があった。
- ・同一山域に山行している山岳会同士、連絡を取り合って事故防止に役立てよう。

- ・各会遭対担当者には、別途春山合宿遭対連絡会議のデータを送付する。
- ・5月17日(金)の春山合宿遭対報告会議には、事故なしで集まろう。

第51期春山合宿提出一覧

山岳会		山域	コース	日程	人数
あつた勤労者山岳会		四国	見ノ越～剣山～丸石～白髭避難小屋～三嶺～天狗塚～久保	4/25～28	4
じねんじょ山の会		北ア	八方池山荘～八方池～唐松岳 往復	4/27～28	15
名古屋ありんこ山岳会	A	北ア	一ノ沢～常念小屋テント場～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	5/3～5	5
	B	北ア	一ノ沢～常念小屋～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	5/3～5	10
名古屋山岳同志会	A	南ア	夜叉神峠～南御室小屋～薬師岳～観音岳～地藏岳 往復	4/30～5/2	5
	B	南ア	歌宿～長衛小屋～小仙丈～仙丈ヶ岳～長衛小屋～甲斐駒ヶ岳～長衛小屋～歌宿	5/2～4	3
	C	北ア	上高地～涸沢～奥穂高岳～涸沢岳～涸沢～北穂高岳～涸沢～上高地	4/27～29	10
半田ファミリー山の会	A	台高	高見峠～高見山～国見山～明神平～明神岳～池小屋山～野江股ノ頭～江馬小屋谷出合	4/27～29	10
	B	北ア	上高地～徳沢～横尾～蝶ヶ岳～徳沢～上高地	4/27～29	5
東三河山ぼ会	A	妙高	膳棚第一リフト～大毛無山～ロッテアライゾート～登山口～三田原山～登山口 山スキー	4/27～29	5
	B	四国	筏津～東赤石山～西赤石山～銅山峰～東平 名頃登山口～三嶺～久保登山口	4/28～30	6
	C	北ア	中房～合戦小屋～燕山荘～燕岳 往復	5/4～6	7
若駒山岳会	A	北ア	八方池山荘～八方池～唐松岳～大黒岳～五竜岳～小遠見山～テレキャビンアルプス平駅	4/27～30	5
	B	北ア	八方池山荘～八方池～唐松岳 往復	4/27～29	3

自然保護部 第47回鈴鹿山系清掃登山開催

新年号(令和元年)になった今年も6月の第一日曜日に全国の労山仲間たちと一緒にクリーンハイクを実施します。愛知県連は、例年のごとく鈴鹿山系の御在所岳・藤原岳の両山域で6月2日(日)に実施します。最近の登山道は大変にきれいになってきています。ゴミを見つけるのに苦勞するほどです。清掃登山は、誰でもが取り組める自然保護運動の活動としてスタートしました。この活動を通じて多くの登山者のモラルの向上によるものと思います。近年よく聞かれる言葉に「ゴミがないのに参加しても?」「誰かが参加するので自分は・・・。」理解できる部分はありますが、ゴミの有無ではなく、この清掃登山を通じて、自然の大切さ、ありがたさを再認識するものだと思っています。会員皆様の参加をお待ちしております。 自然保護部 田中

第1回清掃登山実行委員会開催

2019年3月27日 19時30分～

出席者 吉田(くらら)、太田(春日井峠)、堀木(じねんじょ)、番(名古屋ASC)、鋤柄(ふわく)、渡辺(名古屋同志会)、小出(みどり)、榊原(ありんこ)

高木、田中（あつた） 9山岳会10名

- 1) 今期の清掃登山実施の確認を行う。
日時：2019年（令和元年）6月2日（日）
実施山域：鈴鹿山系御在所岳・藤原岳
ルート： 御在所岳 表道、中道、裏道、一ノ谷新道、武平峠、その他の登山道
藤原岳 大貝戸、その他の登山道
- 2) 運営方法
 - ・総責任者に田中とし、各山のリーダーを設け進める。次回にリーダーを決定する。
 - ・当日配布する予定の各用紙の確認をする（前回利用した用紙をリメイクする）。
 - ・御在所岳におけるゴミの回収方法・回収場所の検討をするが決められず、次回に持ちこしとなる。
 - ・御在所岳における山頂受けは、前回の反省を踏まえて集会終了後も設営しておくことを決める。受付担当者は、ロープウェイで降りてもらう。
- 3) その他
 - ・前回は参加人数が連盟員数の40%を下回っているので、清掃登山の必要性を説明して参加を促してもらう事を決める。
 - ・参加する際の交通手段に関して早急に把握するようにお願いする。
- 4) ハルザキヤマガラシ駆除
 - ・5月19日、6月16日の2回実施することを確認する。

第2回清掃登山実行委員会開催

2019年4月10日 19時30分～

出席者 副田（スルジェ）、太田（春日井峠）、吉田（くらら）、山腰（若駒）、板倉（アリス）
中根・鋤柄（ふわく）、榊原（半田FM）、堀木（じねんじょ）、渡辺（同志会）
番（名古屋ASC）、山本（みどり）、高木・田中（あつた） 12山岳会14名

- 1) 参加山域の確認
御在所岳 11山岳会（あつた、アリス、じねんじょ、スルジェ、東海山岳会、同志会
半田FM、ふわく、みどり、くらら、若駒）
藤原岳 3山岳会（春日井峠、ありんこ、ふわく）
- 2) 移動手段
公共交通・・・・・・・・みどり、ふわく
貸切バス等・・・・・・・・春日井峠、スルジェ、半田FM、ふわく
自家用車・・・・・・・・アリス、じねんじょ、同志会、若駒、
未定・・・・・・・・あつた
- 3) 清掃登山の体系
総指揮者：佐藤理事長
運営責任者：田中（自然保護部長）
各山のリーダー： 御在所岳 榊原（半田FM）、藤原岳 太田（春日井峠）
*各山のリーダーには、当日の山頂集会の進行等を行ってもらう。
- 4) 当日の運営方法
山頂受付は集会終了後もそのまま開設しておく事とする。受付終了時間は後日決まる事とする。
ゴミの回収に関しての前回と同じ場所（湯の山パーキングセンター）を利用。
ゴミの回収終了時間を15時30分と検討中。決定次第連絡します。
- 5) ハルザキヤマガラシ駆除
5月19日（日）、6月16日（日）の両日に藤原岳のハルサキヤマガラシ駆除作業を

実施。下記の山岳会が参加します。

5月19日（日）あつた、くらら、じねんじょ、スルジェ、同志会

6月16日（日）あつた、みどり、ふわく

*ありんこ、春日井峠の2山岳会は清掃登山と併せて実施するとの事。

教育部 3/20(木) 第1回教育担当者会議を開きました

日時：3月20日（木）19時30分～

参加者：半田F（新海）、くらら（吉田）、あつた（谷本）、ありんこ（榊原）

計 4山岳会 4名

(1) 自己紹介

・第51期最初の担当者会議なので、全員で1年間よろしくと自己紹介をしました。

(2) 第51期の教育部方針の確認

・総会資料を再度読んで、第51期の教育部方針の確認をしました。

(3) 登山学校の申し込み状況

・3/14現在、受講生10名で昨年よりやや少ないことが報告されました。

(4) 今年度どういう活動をしていくか

①各会の教育活動の交流について

・第50期では3山岳会（ありんこ、くらら、同志会）からの紹介しかありませんでした。

今期、その他の会からも紹介をしていただき、お互いの会の教育活動に役立てていきたいので、次回以降に資料提出をお願いします。

②氷雪技術講習会のあり方について

・氷雪技術講習会の各会アンケート

第50期では、アンケートを提出した山岳会（東三河、若駒、ありんこ、半田F、くらら、みどり、同志会、スルジェ、じねんじょ、犬山マップ）が10山岳会でしたので、次回以降、未提出の山岳会からも提出していただき、今期、方向性ができるようにしたまとめを作成していくこととしました。

・講師（実技を含む）体制については、昨年同様に各会で知恵と労力を出し合こととし、教育部の取組みとして各山岳会合同で実施することを確認しました。

・第50期では暫定的に交通費のみとした講師料ですが、教育部として考えを整理して、理事会に案を提出することとなりました。

・次回の第2回教育担当者会議を2019年4月18日（木）に19時30分より開きます。

登山学校講師 紹介（1ページからのつづき）

コーチ 洞井（半田）、森（東三河）、岩田宗、西村、大谷（じねんじょ）、清水（あつた）

蜂須賀（若駒）、飯田（おやこ）、板倉（ASC）

アシスタントコーチ 祖父江、三宅、三島、伊藤（じねんじょ）、安江（半田）、水野（ASC）

スタッフ 岩田好（じねんじょ）、多賀（あつた）

研修生 安藤、野村、中原（じねんじょ）、見並（ふわく）、肆矢（あつた）

事務局 祖父江、岩田好、三島（じねんじょ）

組織部 3月26日第1回、4月6日第2回、組織担当者会議を開催

3月26日（火）19：00～県連事務所 第1回組織担当者会議

出席者：あつた（山田）、アリス（大石）、ありんこ（榊原）、春日井（弘中）、スルジェ（岩田）、同志会（吉川）、みどり（杉浦）、若駒（神谷）

- ・一般向け登山講座の準備
第1回机上講座、実技山行のロジ表（講座の進行表）、講師、CL、SL、役割分担の確認。
- ・年間スケジュールと活動内容の確認

4月6日（土）17：00～県連事務所 第2回組織担当者会議

出席者：ありんこ（榊原）、スルジェ（岩田）、同志会（吉川）、みどり（杉浦）、春日井（弘中）

- ・一般向け登山講座 4月14日実技山行①の準備。
- ・一般向け登山講座 4月20日机上講座③、4月21日実技山行②の準備。
- ・平和行進への参加者拡大のための宣伝、周知、各会への協力依頼。

次回組織担当者会議は5月16日（木）19：00～県連事務所で開催します。より多くの山岳会に参加していただき、多様な意見ををお願いします。

あいち平和行進2019への参加をよびかけています。

2019年あいち平和行進への参加者拡大と全日程を労山でつなぎたいと思います

参加頂ける会または個人は、会名、および名前をご記入いただき、各会理事または組織担当者にお渡しください。空いた日程への参加協力をお願いします。

各会理事、組織担当者は、県連組織部までご連絡をおねがいます。

あいち平和行進2019年コースと日程（予定）		参加予定山岳会 （参加予定者）
5月31日（金）	湖西部公民館前広場～JR二川駅前～豊橋桜ヶ丘高校	
6月1日（土）	①豊橋市役所～豊川市小坂井支所～蒲郡市役所横	
	②豊川稲荷公園	
6月2日（日）	①岡崎市役所西庁舎十王公園～コープ安城よこやま	
	②豊田市駅西～名鉄豊田市東ロータリー	
6月3日（月）	知立市役所～刈谷市役所	
6月4日（火）	①名古屋市～清須市～北名古屋市	
	②大治町～あま市	
	③中村区～中川区	
6月5日（水）	瀬戸市～守山区	
6月6日（木）	半田市役所～大府市役所	
6月7日（金）	①津島市～稲沢市役所～JR稲沢駅	
	②長久手市	
	③日進市～東郷町	
	④南区、宝公園～泉楽公園	
	⑤港区、港北公園～協立病院	
6月8日（土）	①岩倉市役所～一宮市 ～江南	
	②木曾川町庁舎～一宮市役所	
	①尾西市～一宮市役所	
	②前後駅前広場～コープとよあけ	
6月9日（日）	①小牧市役所～春日井市役所	
	②春日井市東部市民センター～高蔵寺弾薬庫～勝川駅前～春	

	日井市役所	
	③小牧市～小牧基地	
	④豊山町役場庁舎～昭和自動車	
6月10日(月)	名古屋市内集中行進、15コース 中村区発	
6月11日(火)	扶桑町役場～犬山石作公園～各務原市民プール横	

女性部 第2回女性のつどい

4月4日(木) 県連事務所において第2回女性のつどいを開催いたしました。参加者は【二宮、亀井(みどり)、田中(若駒)、木村(あつた)、服部(くらら)、河村(春日井峠)】の5山岳会6名で、今年度の活動内容を検討致しました。

「今より少し先の未来を見つめて」をテーマとして、身体づくりを中心にした活動を計画いたしました。6月には「膝のトラブルに向き合う」、12月は「山筋ゴーゴー体操・サポーター養成講座」、2月「筋力をつくる調理教室パート2」の開催を予定しております。また、9月21・22日に開催します交流山行は、テーマ「繋ごう富士山頂へ」として富士講御師の宿に宿泊をして、1合目から5合目を歩くコースで進めることに決定しました。今年度は10月に全国女性交流集会在和歌山県で開催されます。近県での開催ですので是非皆さんで参加しましょう。日程等につきましては、それぞれの詳細が決まり次第、労山愛知、県連ホームページ、理事を通じてお知らせいたします。

県連に「山筋ゴーゴー体操サポーター」が誕生しました。

3月に日本勤労者山岳連盟が主催する「山筋ゴーゴー体操サポーター養成講座」を受講した木村美保さん(あつた)がサポーターに認定されました。県連初のサポーターです。これからも木村さんを中心に女性部で「山筋ゴーゴー体操」の普及に取り組んでいきます。

報告:コーチ会議との懇談会

昨年12月6日理事会とコーチ会議との懇談会を行いました。これは、昨年の代表者会議におやこ山の会の飯田氏から配布された「「登山学校の問題点の整理 2017/10/26」という文書について」などについての懇談でした。元となっている文書は昨年10月の理事会に配布した検討用のメモです。

コーチ会議からはメモの内容についての質問がありましたが、理事会としては「会議では何ら審議されていない内容なので、個別の事項について回答することは返って混乱を招くので適当ではない」としました。

出席者：[理事会] 望月・佐藤・吉川・廣田・榊原・岩田・河村・田中・脇田

[コーチ会議] 飯田・洞井・岩田・三島・清水・大谷

(記事掲載の遅れたこととお詫びします。)

【編集後記】◆なかなか本格的な春はやって来ず、桜の花も例年になく長持ちしているとのこと。山も普通じゃない天候の時には普通じゃない状況になる可能性が高まります。みなさん、GWの山行はくれぐれも気をつけて楽しんできてください。(事務局 井土)

ご意見、ご要望・投稿などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com

Schedule 2019

5月			6月			7月		
1	水		1	土		1	月	登山学校理論⑭
2	木		2	日	第47回清掃登山	2	火	
3	金		3	月	登山学校理論⑨	3	水	
4	土		4	火		4	木	女性のつどい⑤
5	日		5	水		5	金	
6	月		6	木	清掃登山実行委員会⑦ 女性のつどい④	6	土	登山学校実技 M6C8 理事会⑧
7	火		7	金	遭対担当者会議②	7	日	
8	水	教育担当者会議③ 清掃登山実行委員会④	8	土	一般登山講座⑥	8	月	
9	木	理事会⑤	9	日	登山学校実技 C5	9	火	
10	金		10	月	確保技術講習会机上 登山学校理論⑩	10	水	
11	土		11	火		11	木	
12	日	登山学校実技 C3	12	水		12	金	夏山合宿遭対連絡会議
13	月	登山学校理論⑥	13	木	理事会⑦	13	土	
14	火		14	金		14	日	
15	水		15	土		15	月	
16	木	組織担当者会議④ 清掃登山 実行委員会⑤ 女性のつどい③	16	日		16	火	
17	金	春山合宿遭対報告会議	17	月	無雪期救助訓練机上 登山学校理論⑪	17	水	
18	土	一般登山講座④⑤	18	火		18	木	教育担当者会議⑤ 自然保護部会③
19	日	登山学校実技 C4 一般登山講座実技③	19	水	自然保護部会②	19	金	
20	月	登山学校理論⑦	20	木	教育担当者会議④ 組織担当者会議⑤	20	土	
21	火		21	金		21	日	
22	水		22	土	救急救命法講習会 登山学校理論⑫	22	月	
23	木	理事会⑥	23	日	無雪期救助訓練実技 登山学校実 M5C7	23	火	
24	金		24	月	登山学校理論⑬	24	水	
25	土	登山学校実技 M3	25	火		25	木	理事会⑨
26	日	登山学校実技 M3	26	水		26	金	
27	月	登山学校 理論⑧	27	木		27	土	
28	火		28	金		28	日	
29	水		29	土	全国組織担当者会議	29	月	
30	木	清掃登山実行委員会⑥	30	日	全国組織担当者会議 確保技 術講習会 登山学校実 M4C6	30	火	
31	金					31	水	